

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
実施期間	2022年7月4日～28日（オンライン）、11月10日～24日（来日）
主催機関	国際協力機構（JICA）、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、平成20年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）を契機として、JICAへ協力して、課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」コースの受入を開始しました。約1か月のコースで、令和4年度までに14回実施し、32か国から145人を受け入れています。</p> <p>アフリカでは、現在も多くの国で水道事業に関する課題を抱えており、参加国の多くは、お客さまに配っている水のうち30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの課題に直面しています。</p> <p>水道局では、浄水処理や水質管理、水圧・水量・水質などの配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義を行っています。参加者は、講義や実習で学んだことを踏まえて研修の中で自らの課題解決のための活動計画を策定し、自国に持ち帰って自らの取組みに繋がります。</p> <p>【令和4年度の具体的な研修の内容】</p> <p>令和4年度はオンライン研修と来日研修を併用したハイブリット研修を実施しました。来日前の事前研修として、研修員は7月に動画共有サービスに公開した動画教材を視聴し、週に1回、オンラインで質疑応答を実施しました。11月には、渡航の規制が緩和されてきたことを受け、来日研修を実施し、施設の見学等を行いました。</p>
対象（相手）国・機関名	令和4年度の研修員 12名：エチオピア（2）、カメルーン(1)、ケニア（1）、ザンビア（1）、マダガスカル（3）、マラウイ（2）、南アフリカ(1)、南スーダン（1）

写真



オンラインでの質疑応答の様子



メーター器差試験体験の様子

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト「マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト」
実施期間	2019年6月から2024年12月まで
主催機関	国際協力機構（JICA）、株式会社協和コンサルタンツ、横浜ウォーター株式会社、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、令和元年6月よりJICA技術協カプロジェクト「マラウイ国リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト（LiSCaP）」に職員を派遣するなど、プロジェクトを支援しています。</p> <p>横浜水ビジネス協議会会員である株式会社協和コンサルタンツ及び横浜ウォーター株式会社と連携し、チーム横浜で、マラウイ水事業の改善に取り組んでいます。</p> <p>プロジェクトでは、無収水（漏水や盗水などの収入につながらない水）を削減するための計画の策定、削減手法の習得、それらの知見の共有・発信などを指導しています。</p> <p><b>【令和4年度の具体的な活動の内容】</b></p> <p>当局が令和元年6月から派遣する長期専門家が令和4年4月に交代しました。6月にプロジェクト成果の国内展開を図るため、マラウイ国内の5つの水道事業体を対象としたワークショップを開催したほか、無収水削減計画について指導しました。</p> <p>9月と1月には、リロングウェ水公社職員が来日し、本邦研修を実施しました。</p> <p>2月には、長期専門家の現地業務をサポートする職員を派遣し、アセットマネジメントや管路更新計画について改善提案等を行いました。</p>
対象（相手）国・機関名	マラウイ国リロングウェ水公社（LWB）

写真



配水区域の現地確認



アセットマネジメントの指導

事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	パキスタン国ファイサラバード上下水道局との技術交流の覚書事業
実施期間	2019年10月～
主催機関	横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局は、横浜ウォーター株式会社と連携してJICA開発計画調査型技術協力「ファイサラバード上下水道・排水マスタープランプロジェクト」（2016年7月～2019年6月）を進める中で、支援先であるファイサラバード上下水道局（WASA-F）の総裁より、人材育成の観点から、更なる自治体連携の要望を受けました。相互の人材育成と水ビジネスの促進に資することから、2019年10月に「WASA-Fと当局との技術交流の覚書」を締結しました。</p> <p>2022年度からは、横浜ウォーター株式会社が受託したJICA「ファイサラバード水道事業経営改善プロジェクト」との連携を強化し、オンラインセミナーの内容をプロジェクトに活用します。</p> <p><b>【覚書の内容】</b></p> <p>(1) オンラインセミナーの開催（年1回）  (2) 横浜水ビジネス協議会会員企業の技術・製品の紹介  (3) JICA「ファイサラバード水道事業経営改善プロジェクト」との連携</p> <p><b>【令和4年度の具体的な研修の内容】</b></p> <p>8月にオンラインセミナーを開催しました。オンラインの利を活かして、ファイサラバードの位置するパンジャブ州州都のラホール上下水道局（WASA-L）もセミナーに招待しました。</p> <p>日程：2022年8月25日、26日  参加者：WASA-F 22名・WASA-L 27名 計49名  内容：配水管理、無収水削減、人材育成、マニュアル/SOPの分野における意見交換  横浜水ビジネス協議会会員企業2社へのオンラインビジネスマッチングの機会提供</p>
対象（相手）国・機関名	パキスタン国ファイサラバード上下水道局、ラホール上下水道局

写真



覚書締結式（2019年度）



オンラインセミナーの様子（2022年度）